

安全データシート

作成日 2002年 3月 14日

改訂日 2024年 10月 18日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : DPD 試薬
会社名 : 協和純薬工業株式会社
住 所 : 東京都北区浮間4-16-28
担当部門 : 品質管理室
電話番号 : 03-3968-7441 F A X 番号 03-3969-0049
緊急連絡先 : 協和純薬工業株式会社 本社 電話 03-3968-7441
推奨用途 : 残留塩素濃度測定
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

販売者:三笠産業株式会社
〒340-0043埼玉県草加市草加5-6-10
tel (048)941-8215
fax (048)943-4897

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性

皮膚腐食性/刺激性 区分2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 : 警告

危険有害性情報 :

- ・ 皮膚刺激
- ・ 重篤な眼への刺激
- ・ 飲み込むと有害

注意書き :

【安全対策】

- ・ 取扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ 保護手袋/保護眼鏡を着用すること。
- ・ 屋外または換気の良い場所で使用すること。

【応急措置】

- ・ 飲み込んだ場合:口をすすぐこと。直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
- ・ 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- ・ 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタク

トレンズを着用して容易に外せる場合には外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。

- ・ 皮膚（又は髪）に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

【保管】

- ・ 容器を密閉し、冷暗所に保管すること。

【廃棄】

- ・ 関係法令に基づき、自社で適正に処理するか、または都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法番号	安衛法番号	
N,N-ジエチル-パラ-フェニレンジアミン	1.3	C ₁₀ H ₁₆ N ₂	(3)-243	既存	93-05-0
水溶性溶剤	80～85	非公開	非公開	既存	非公開
非イオン界面活性剤	10～15	非公開	非公開	既存	非公開
陰イオン界面活性剤	①直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	(C ₂ H ₄ O) _n C ₁₀ H ₂₂ O	(3)-1907	既存	85536-14-7
	②硫酸	H ₂ SO ₄	(1)-430	既存	7664-93-9

4. 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移動させ安静にし、必要に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : すぐに多量の水及び石鹼で洗い流す。皮膚刺激が生じた場合は医師の診察／手当てを受ける。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 速やかに口をすすぎ、うがいをする。気分が悪い時は医師に連絡すること。

応急処置をする者の保護に必要な注意事項

: 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水

使ってはならない消火剤

: 棒状放水

火災時の特有の危険有害性

: 火災により、刺激性ガスまたは有毒ガスが生成されることがあるので、必ず保護具を着用し、消火作業の際には煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。周囲の設備などに散水して冷却する。消火のため放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な処置を行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

: 消火作業では、適切な保護具（手袋、保護眼鏡、防毒マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素や窒素酸化物を含む有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、適切な呼吸用保護具を着用し、煙の吸入を避ける。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

環境に対する注意事項 : 漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

: 本製品の容量は少量のため、ウエスまたはティッシュでなるべく拭き取って空容器に回収する。その後、多量の水で流すか雑巾で良く拭き取る。漏出した液をそのままにすると着色が取れなくなる場合がある。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い :

技術的対策

- ・ 皮膚、眼、衣服との接触を避ける。特に手荒れなど、皮膚が弱い場合は必ず化学防護手袋を着用して取り扱う。火気、高温物に注意し、これらの近くでは作業しない。長時間または反復の暴露を避ける。

安全取扱い注意事項

- ・ 使用後は容器を密閉する。
- ・ 取扱い後は良く手を洗うこと。

保 管 :

安全な保管条件

- ・ 直射日光を避け、密封して冷暗所に保管する。

- ・ 製造後 10 ヶ月以上経過した物は使用しない。(製造月は容器に記載)
- 安全な容器包装材料
- ・ ポリエチレン、ポリプロピレン、ガラス等

8. ばく露防止及び保護措置

化学名		管理濃度	日本産業 衛生学会 許容濃度	米国産業衛生専門家会議 (ACGIH)	
				TLV-TWA	TLV-STEL
N,N-ジエチルパラフェニレンジアミン		未設定	未設定	未設定	未設定
水溶性溶剤		未設定	未設定	未設定	未設定
非イオン界面活性剤		未設定	未設定	未設定	未設定
陰イオン 界面活性剤	①直鎖アルキルベンゼンスルホン酸	未設定	未設定	未設定	未設定
	②硫酸	未設定	1mg/m ³	未設定	未設定

設備対策：作業場の十分な換気を確保する。取り扱い場所の近くに洗眼及び身体洗浄のための設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

保護具

呼吸用保護具	必要により有機溶剤用防毒マスク
手の保護具	化学防護手袋 (JIS T 8116)
眼、顔面の保護具	保護眼鏡 (普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型) (JIS T 8147)
皮膚及び身体の保護具	保護衣 (必要により静電気防止加工長袖作業着)

9. 物理的及び化学的性質

物理状態、色	: 淡黄色～微褐色液体
臭い	: 多少刺激臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: データなし
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: 該当しない

1 0. 安定性及び反応性

- 反応性 : 酸化剤と反応することがある。
化学的安定性 : 光、高温で劣化する。
危険有害反応可能性 : 通常の処理ではなし。
避けるべき条件 : 日光、熱
混触危険物質 : 酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素、二酸化炭素
-

1 1. 有害性情報

(N,N-ジエチルパラフェニレンジアミンとして)

急性毒性 (経口)

: マウスの LD50 値は 200 mg/kg (RTECS (1999)、元文献 : National Technical Information Service. OTS 0546494) に基づき区分 3 とした。なお、EU では T; R25 に分類されている (EC-JRC (ESIS) (Access on July. 2011))。

急性毒性 (経皮)

: データなし

急性毒性 (吸入 : 気体)

: GHS の定義における液体である。

急性毒性 (吸入 : 蒸気)

: データなし

急性毒性 (吸入 : 粉じん、ミスト)

: データなし

皮膚腐食性/刺激性

: データなし

眼に対する重篤な損傷性/刺激性

: データ不足。なお、ウサギを用いたドレイズ試験で、刺激性は重度 (severe) (RTECS (1999)) との報告があるが、List 3 のデータであり、詳細は不明である。

呼吸器感受性

: データなし

皮膚感受性

データなし

生殖細胞変異原性

: in vivo 試験のデータがなく分類できない。なお、in vitro 試験では、エームス試験及びチャイニーズハムスターCHO 細胞を用いた染色体異常試験の結果はいずれも陽性 (NTP DB (1985)) と報告されている。

発がん性

: データなし

生殖毒性

: データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）

：データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

：データなし

誤えん有害性

：データなし

1 2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）：データなし

水生環境有害性 長期（慢性）：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

オゾン層への有害性：データ不足のため分類できない。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：少量の場合、多量の水で洗い流す。多量の場合、出来るだけ回収し、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器及び包装：容器は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上輸送（IMDG）

国連番号：1760

品名（国連輸送名）：その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）

国連分類：クラス 8（腐食性物質）

容器等級：III

海洋汚染物質：非該当

航空輸送（IATA）

国連番号：1760

品名（国連輸送名）：その他の腐食性物質（液体）（他の危険性を有しないもの）

国連分類：クラス 8（腐食性物質）

容器等級：III

国内規制

陸上規制情報：消防法の規定に従う。

海上規制情報：船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報：航空法の規定に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

: 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法	: 皮膚等障害化学物質等（皮膚刺激性有害物質）（規則 第 594 条の 2 第 1 項）（N,N-ジエチル-パラ-フェニレンジアミン）
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）	: 第 1 種指定化学物質（法第 2 条第 2 項、施行令第 1 条別表第 1）（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（C10-14）（管理番号：30））
毒物劇物取締法	: 非該当
消防法	: 第 4 類第 3 石油類（水溶性）危険等級Ⅲ
船舶安全法	: 腐食性物質（危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1）
航空法	: 腐食性物質（施行規則第 194 条危険物告示別表第 1）
水質汚濁防止法	: 指定物質（法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3）（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩）

1 6. その他の情報

この安全データシート（SDS）は、JIS Z 7252：2019、JIS Z 7253：2019 に準拠し、作成時における最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂される事があります。また、SDS 中の注意事項は通常取扱を対象にした物です。製品使用者が特殊な取扱をされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証する物ではありません。

※危険、有害性の評価は必ずしも十分ではない可能性がありますので、取り扱いには十分注意をお願い致します。

参考文献

安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

NITE：独立行政法人 製品評価技術基盤機構

https://www.chem-info.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop

化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）

GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム（NITE-Gmiccs）

経済産業省

原材料製造メーカーSDS
